

議会だより

定例会

平成30年第2回定例会は6月20日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

承認

○北竜町税条例の一部改正について

推薦

○人権擁護委員の候補者の推薦について

藤井 光子氏（新）

原案可決

○定住自立圏の形成に関する協定書について

○北竜町過疎地域自立促進市町村計画の変更について

○北竜町国民健康保険条例の一部改正について

○平成30年度北竜町一般会計補正予算（第1号）について
・既定予算額に75,015

千円を追加し、予算総額を3,421,015千円とする。

○平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

・既定予算額に2,832千円を追加し、予算総額を325,832千円とする。

○平成30年度北竜町診療所事業特別会計補正予算（第1号）について

・既定予算額に3,156千円を追加し、予算総額を104,156千円とする。

○平成30年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算（第1号）について

・既定予算額に344千円を追加し、予算総額を111,344千円とする。

報告済

○株式会社北竜振興公社の経営状況を説明する書類の提出について

意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。

○北海道主要農作物種子条例の制定に関する要望意見書

一般質問

3名の議員から3件の一般質問がありました。質問内容については、8月号に掲載予定です。

行政視察

6月8日、町理事者・担当課長出席のもと、町内行政視察を実施しました。

視察場所

○教育委員会関係

（真竜小学校グラウンド・碧水生きがいセンター外）

○住民課関係

（和市街地防犯カメラ・和保育所外）

○産業課関係

（みのりつつ北竜・ひまわり

の里・農産物加工実習センター外）

○企画振興課関係

（商業活性化施設・北竜温泉・旧恵岱別都市と農村交流センター外）

○建設課関係

（培本社古作線・和浄化センター外）

○総務課関係

（桜岡独身寮外）



▲建設業者による
北竜温泉改修工事の説明



▲教育委員会による真竜小学校
グラウンド暗渠工事の説明



議員

コラム

田植えも終わり、一段落のこの頃ですが、近郊の町村において大型の水田（2～3ha）への工事が行なわれており、町内においても見られるようになりました。

現在の圃場が作られたのは、昭和40年代に農業の近代化を図るために、当時の5a前後の水田を30～50aへと変更計画を立てられ、町内においては、碧水地区から昭和40年の10月より旭川の業者による、工事が始まりました。

まず、用排水工事にかかったが、全部スコップによる手掘りでウンボは一台もなく、人海戦術で現在とは大違いで、ブルドーザーも湿地ブルは一台も無いなか、昭和41年の春工事では、春の天候が悪く、ブルドーザーも各所で泥濘り、水田は泥沼と化し、トラクターによる耕起、代掻きの出来る

所は一部に限られ、ブルドーザによる代掻きをしたため、腰まで泥水につかっただけの田植えとなりました。田植えも一ヶ月遅れ、6月20日頃までかかりました。

当時を振り返ると、何年もかかって築いたそれぞれの愛着ある土地を、境界を無視して作り替え、大型機械の導入、圃場整備の先進地も少なく、視察しても参考になるものがないなか、何回も会合を重ねて不安のなか参加したのである。

当時の地区内のリーダーは農業近代化の名のもとに、機械化、共同化をし、婦人の労働の軽減など粘り強い説得があり、今日の基礎を築いてくれました。

今は農業機械大型化、効率化を求めてより大きな水田に生まれ変わろうとしています。

（山本剛嗣）